

あくまでも自分史として

「岳陽」と共に

第 8 号

発行日
2023. 7. 30
編集・発行
井上講四／堂本彰夫
※連絡先
〒901-2225
沖縄県宜野湾市
大謝名 3-13-24
教育協働研究所
～岳陽舎～
(井上講四宅)
Tel:098-963-9282
E-mail:
gakuyou17@outlook.jp

〇ふと思つた？我が書きモノの行く末？！

既に承知されている人も思うが、別途HP上にアップしている「ID問答(内なる対話)」「意味ある世間話」となるや、否や!!」も、一応「了」という形で、過日、締めを行った！自らの内に、二人の人間を操り(ある意味「遊び心」からであるが、そればかりではないことは、分かる人には、分かってもらえているはずであるが?)、世の出来事や、自分(達?)なりに、これは書き留めておかなければと思つたことを、まさに対話形式(ダイアログ)で、書き綴ってきたものである！

ちなみに、そこでの記事(①～⑩)は、「総集版」として、改めて、HP上にアップするつもりである(昨日22日にアップした！古いのを合わせれば、今回の分は第3弾ということになるが、興味のある(余裕のある)人は、通しで、(再び?)読んで欲しいものである！

なお、もう一つの「新・教育協働への道」も、一応は、次のステージ(⑪)に移つてはいるが、そこでも、何故か「(つづく?)」という、怪しげな表記で終わらせている！「いつ止めてもいい？」という思い(覚悟?)を、そこに忍ばせているが、これについては、もう少し成り行きを見てということではある?!

いずれにしても、こちらの『岳陽』と共に「が、二人(私井上と堂本氏)の共作としては、最後のもの?というところになるわけであるが、記憶力と思考力(遊び心も?)の減退(消失?)に抗うための良策であることは言うまでもない!!果たしてどうなるか?暑い夏ではあるが、当面は(下肢の不調にもめげず)、書き続けていくことになる!」

〇ふと思つた？我が書きモノの行く末？！

ところで、ここで、ついでと言つたら、少し複雑ではあるが、最近、偶にはあるが、HP上にアップしているものを改めて、これまでの、私の書きモノ達は、いつ、どのように処分? (笑)されるのだろうかと思つたことがある!

本や紙の資料等(既に、かなりの分は処分しているが!しかし、何故か?古代史関係は、嫌というほどある!)は、たとえ私が処分しなくても(出来なくなつても?)、目に見えるわけではあるので、誰か(私の奥さん?もしくは、娘達?)が処分してくれるとは思つた(ただし、どう思うかでやるのかは別問題?...笑?)、パソコン本体やUSBの中の書きモノ(データ)は、別である?!

ちなみに、私以外の人達(昔の人達?)は、そういう心配?もなく、後に続く家族、あるいは所縁の人によつて、篤く保管されるか(例えば、〇〇文庫として?)、図書館への寄贈という形で処遇されることではあるが、私のモノ達は、そういうわけにもいかない(要は、他の人達にとっては利用価値がない?所在も、バラバラ?)!!

ということ、いとも簡単に、処分(廃棄または焼却)されているかもしれないということであるが(冷静に捉えれば、残される側にとっては、懐かしくはあつても、実際には厄介な代物となる?)、パソコン上のものは、私自身の生き様(世間的に言えば、道楽?)を示しているものであるので、こちらの方は、いつの日か(決断の日?)、自らで消せればと思つてはいる?!!そういうことである!」

〇とんでもない若者達?そこにあるのは、異次元の世界?!

急遽、ここでは、違つた話題にすることにしよう!用意していたものがあつたのだが(これについては、いつかまた取り上げる予定である?)、この感激(否、むしろ驚き?)否、それ以上?)を忘れてはいけないとも思い、見出しのテーマとした次第である!まず、そのテーマからしたら、やはり、あの大谷翔平のこと

であろう(まだシーズン途中ではあるが?)!!かのWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)での活躍はもちろんであるが、その後のシーズン・プレイ(三刀流)についても、何とも言えない活躍(雄姿?)である(もちろん、こんな表現では生ぬるい?)!ただし、ここで書き記しておきたいことは、実は、そういうことではない!大リーグで活躍している(した)選手は、あのイチロー選手を始め(凄い記録も残している!)、数多くいる!まさに、彼らも、とんでもない若者達なの(だったの)である!しかも、そうした若者達は、様々な種目・分野で、無数にいると言えるのである(もちろんスポーツ以外でも?)!

しかし、やはり、あの大谷翔平選手は違つた!否、突然ではあるが、あの将棋の藤井聡太七冠もそうである!否々、一番ホットなところで言えば、先日の、VNL(バレーボールネーションズリーグ)での、日本チームキャプテンの石川祐希選手もそうである!!では、改めて、彼らは、何が違つたのか?

もちろん、その答えは、人によつて異なるであろうが、私がここで言いたいことは、彼らの活躍(実力?)は、他の人がどれだけ頑張つても、その域には、おそらく達することが出来ない?それくらい、異次元の活躍(実力?)なのではないかということである(ただし、そこには、恵まれた体と頭脳があり、そしてまた、それに劣らぬ鍛錬(意志も含めて!)があつたのであろうが?)!!しかも、何より、自らが自らの世界(時空)を楽しんでいるようにも見える?!!そこが違つたのである?!

ただし、誤解されては困るが、多くの人の努力や鍛錬の無意味さを述べているのではなく、今まさに、そうしたものを越えた(超越した?)若者達がいる(出てきている?)!そういうことを、素直に驚きたい、歓迎したいということである!

